

会議録

会議名	第2回習志野市大久保地区公共施設再生事業手法検討専門委員会
開催日時	平成27年10月28日(水) 10:00~12:00
場所	大久保公民館3階集会室
出席者	[委員] 習志野市公共施設再生事業手法検討専門委員会 田島委員長、山本副委員長、佐々木委員、麦島委員、小松委員 [事務局(財政部資産管理室資産管理課)] 吉川室長、早川主幹、岡田主幹、青野副主査、濱田主任技師 [事務局支援事業者] 株式会社 日本経済研究所
議事等	1. 開会 2. 議事 [報告事項] 「管理運営体制に関する基本的な方向性」(事務局より説明) [審議事項] 大久保地区公共施設再生事業における事業手法について 3. その他: 次回専門委員会について 4. 閉会

【会議概要】

●開会

●議事

(1) 「管理運営体制に関する基本的な方向性」

事務局より、現状、市で検討している基本的な方向性について説明

(2) 大久保地区公共施設再生事業における事業手法について

委員により、大久保地区公共施設再生事業における事業手法について審議

委員意見要旨

田島委員長	<p>○今回の施設整備の中には、民間で収益が上がる部分と、公共業務を肩代わりするような業務で収益があがらない部分がある。これを分けて考え、収益が上がる部分については最大限、民間の提案により、市民が魅力を感じてもらえるような施設にすることが重要と考える。</p> <p>○そのために、公共側ではやってほしいことを明確に示すと同時に、民間側がより主体的に提案し、パブリックマインドと収益性を両立させられるような仕組みを検討したい。この仕組みについても、民間から提案を貰うようにしてもいいと思う。</p> <p>○検討にあたっては、このプロジェクトの基本である①公共側のコスト削減、②市民参加も含めて民間の活動を盛り上げる、という2点を押さえ</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>た上で、どこまで自由に提案を受けるか、どこまでを公共的業務の代替としてやってもらうかを考えるべきである。</p>
山本副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大久保地区の公共施設再生を地域利用施設から全市利用施設にする点が重要である。そこからどういう機能を持たせるべきか、どういう使い方をするかを考えるべきである。</li> <li>○公民館については、市内公民館と連携し、リーダー的な公民館として市が為すべきことがある。図書館についても同様である。図書館業務のうち「方針の提案」を民間が行うことになっているが、これは図書館としての企画能力が必要であるため、民間に全面的に委ねることには不安がある。</li> <li>○市民協働スペースについては、運営者が多様な企画を出せることが必要。</li> <li>○全市民のための施設であるため、大久保地区にとどまらず、市内への情報提供（出前機能）を検討してほしい。</li> </ul>
佐々木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本事業で整備する施設については、公園以外は法的制約が少ないので、全体を管理するSPC（特別目的会社）を作り、建物整備（リノベーションまたは新築）、運営全体も行い、収益事業を実施する仕組みが考えられる。公共が使う部分は時間的・空間的に規定すればよい（民間からのリースバックなど）。</li> <li>○全体について指定管理制度が想定できるが、公園だけはできない。公園施設全体の設置許可を委ねる方法でクリアできると考える。</li> <li>○事業全体の仕組みと民間が自由に提案できる空間（または時間）を明確にし、自由に提案を求めることで収益性が出なければ民間は手を挙げてこない。</li> <li>○SPCに市が出資することも考えていいと思う。</li> </ul>
麦島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市としてここで、どういう機能を確保したいのか、公共サービスの提供の内容を固めることが必要。また、収益事業についてはどの程度の空間的、時間的自由度があるのかを具体的に示した上で、民間事業者と対話しながら議論していくことが必要である。</li> </ul>
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収益事業と公共事業を分けて考えて、そのうえで全体としてビジネスモデルをどう組み立てるかがポイントである。収益事業は組み合わせることで集客効果が倍増する可能性がある。現在の議論では、やや総花的な企画で、利用者にとって、それが魅力的に映るかが懸念される。</li> <li>○公民連携を行うならば、それぞれの収益事業について民間の目線で成立するのか、集客が見込めるのかの議論が欠けていると思う。民間の目線で収支計画などを検討することも必要ではないか。</li> </ul>

●閉会